

「集中治療室における筋力低下と筋超音波検査・筋バイオマーカーの有用性」へ

ご協力をお願い

—平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日までに当院総合診療棟 ICU・東 ICU に入室された患者様とご家族の方へ—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長名岡山大学病院長 榎野 博史

責任研究者 岡山大学病院 集中治療部 職名：医員 氏名：木村 聡

分担研究者 岡山大学病院 集中治療部 職名：助教 氏名：鈴木 聡

岡山大学病院 整形外科教室総合リハビリテーション部小児麻酔科

職名：教授 氏名：千田 益生

岡山大学大学院医歯薬総合研究科生体制御科学専攻生体機能制御学講座麻酔蘇生学分野

職名：教授 氏名：森松 博史

1. 研究の意義と目的

集中治療室（ICU）入室患者さんの多くが筋力の低下を呈し、入院中だけでなく退院後の生活の質にも影響を与えることが問題となっております。現存の検査方法では早期診断や重症度判定として限界があり、非侵襲的な安価で有効な診断方法は確立されておられません。これまでの報告で、超音波検査を用いた筋の厚みやその特徴の測定や、血液検査を用いた筋関連因子（筋バイオマーカーと呼びます）の測定が、筋疾患に対して有効な検査と期待されております。しかし、ICU 患者さんにおいてこれらの検査を用いた研究は数少なく、その有用性は確立されておられません。

この研究の目的は、筋超音波検査と筋バイオマーカーが ICU 患者の筋力低下の早期診断や重症度判定、予後予測のための検査として有効な手段であるか否かを解明することです。簡便で非侵襲的な筋超音波検査や筋バイオマーカーの有用性が明らかになれば、麻酔・意識障害・多発外傷などで徒手筋力テストを行わずに見逃されていた筋力低下を早期に診断できる可能性があります。また、観察項目として用いることで、治療やリハビリの治療効果判定としての有用性を調べる事ができます。すなわち、ICUAW の原因検索や予防法の発見、新たな治療戦略を目指した研究の評価項目としても用いることが可能となり、今後の発展に大きく貢献することができます。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

岡山大学病院 ICU に入室する 20 歳以上の患者さん 60 人。

2) 研究期間：

平成 29 年 3 月 の倫理委員会審査承認後～平成 30 年 12 月 31 日

3) 研究方法：

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 7 月 31 までの間に、当院 ICU 入室前・滞在中に、筋超音波検査・血液検査・電気生理学検査・筋力測定を用いて、筋の評価を定期的に行います。また、手術や基礎疾患、治療内容など筋力に影響を与える可能性のある項目についても情報を収集します。

4) 調査票等：

研究資料には、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。病歴書、血液検査、筋超音波検査、生理学検査、手術の記録

5) 情報の保護：

調査情報は、岡山大学病院内集中治療室内で厳重に取り扱います。電子情報の場合は、パスワードなどで制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保管します。

6) 研究結果の開示：

本研究の結果については、本人および代諾者・家族の希望がある場合には開示を致しますので下記までお問い合わせください。

7) 情報の保存：

本研究に使用した試料は日常業務に準じて保存します。情報は、研究終了後 5 年間保存します。保存期間が終了した時点で破棄します。

8) 学会発表および論文発表：

本研究の結果は、個人を特定できない形で今後の医学の発展のために国内および国外学会に発表させていただきます。また論文化し、医学雑誌、インターネットに投稿いたします。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。お子様やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 集中治療部

氏名：木村 聡

電話：086-235-7778 ファックス：086-235-6984